

2017年3月期

第2四半期決算説明会説明資料

2016年10月28日

株式会社 ドリームインキュベータ

(証券コード 4310)

DI

第2四半期決算概況

各事業の状況

上期サマリー

- 連結売上高 68億円（前年同期比+16%）
- 経常利益 7.0億円（前年同期は赤字）
- 四半期純利益 4.4億円（前年同期は赤字）
 - コンサルティング事業が上期として過去最高
 - インキュベーション事業はIPOがなかったが、
上場株式の追加投資及び売却を実行

通期見通し

- 計画通りに進捗
 - 連結売上高 130億円（株式売却除く）
 - IPOは複数社を見込む

2017年3月期 第2四半期連結P/L

(単位：百万円)	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減率
コンサルティング事業（セグメント）	1,013	1,578	56%
インキュベーション事業	4,885	5,274	8%
（ 営業投資セグメント	48	479	886%
（ 保険セグメント	3,793	4,762	26%
（ その他セグメント	1,044	32	-97%
売上高合計	5,899	6,853	16%
コンサルティング事業（セグメント）	412	923	124%
インキュベーション事業	▲ 310	352	-
（ 営業投資セグメント	▲ 596	243	-
（ 保険セグメント	20	140	570%
（ その他セグメント	264	▲ 31	-
セグメント損益合計	102	1,275	1150%
本社費	581	588	1%
営業利益	▲ 479	687	-
経常利益	▲ 460	703	-
親会社株主に帰属する純利益	▲ 566	448	-

注：金額の表示単位未満は切り捨て。前期その他セグメントには売却したアセットリクイジション、知的財産権セグメント含む

2017年3月期 第2四半期セグメント損益前年対比

(損益額：億円)	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減理由
コンサル	4.1	9.2 +5.1	売上高56%増に伴う収益向上
営業投資	▲5.9	2.4 +8.3	2016年3月期：1社減損 2017年3月期：値上がり上場株式を売却
保険	0.2	1.4 +1.2	堅調に成長
その他	2.6	▲0.3 ▲2.9	知的財産権： 3.8億円⇒ - アセットリクレーション： ▲0.6億円⇒ - マーケティング他： ▲0.5億円⇒ ▲0.3億円
合計	1.0	12.7 +11.7	

2017年3月期 第2四半期連結B/S

2016年3月末
(総資産：161億円)

2016年9月末
(総資産：172億円)



純資産 増減内訳	
● SO行使等	+0.2億円
● 親会社純利益	+4.4億円
● 非支配株主持分	+0.6億円
● 配当金支払	△1.2億円
● その他包括利益等	△2.0億円
● 合計	2.1億円

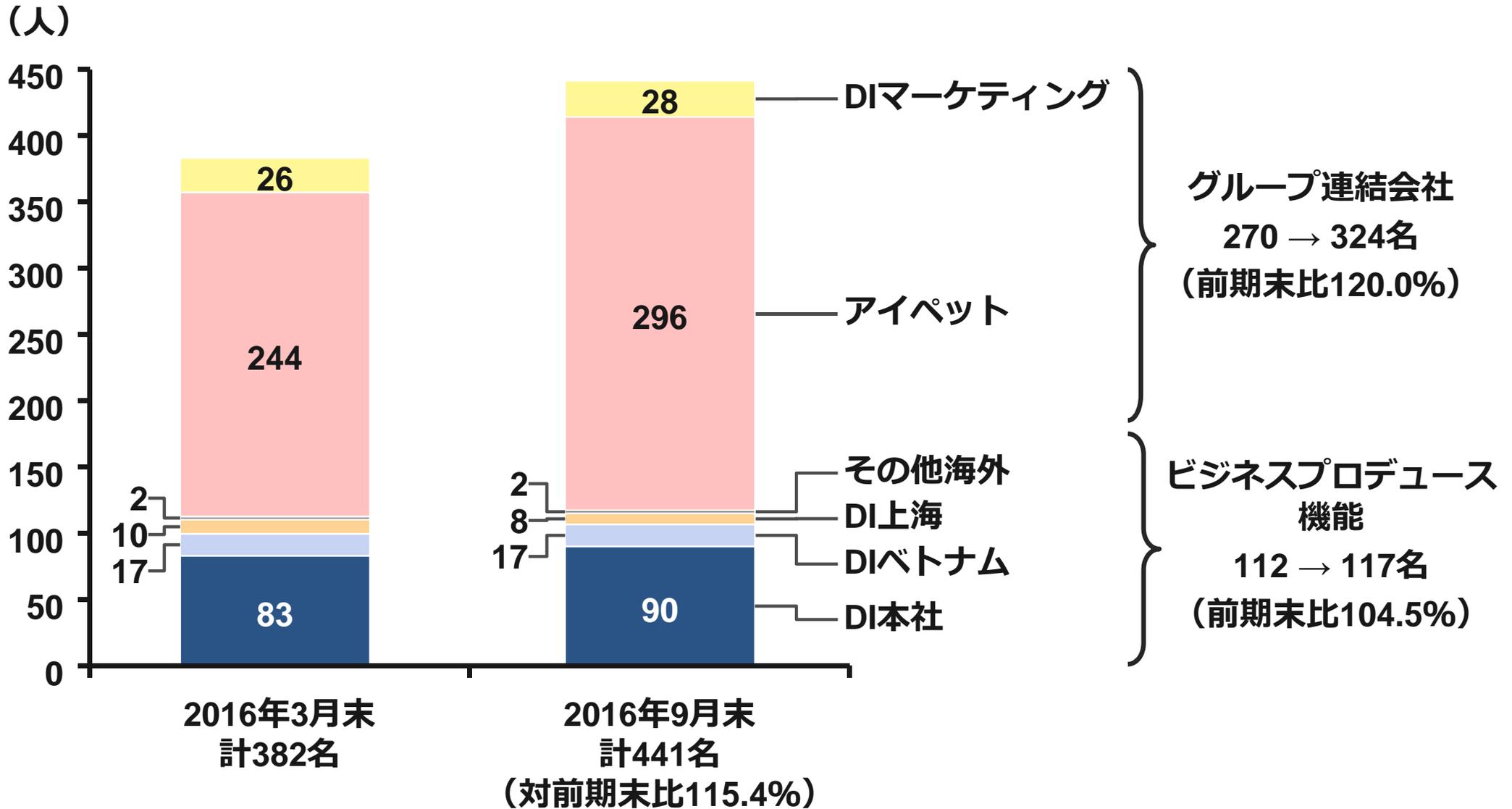


内IPET非支配株主持分
9億円

内IPET非支配株主持分
10億円

注： 金額の表示単位未満は切り捨て

連結従業員数



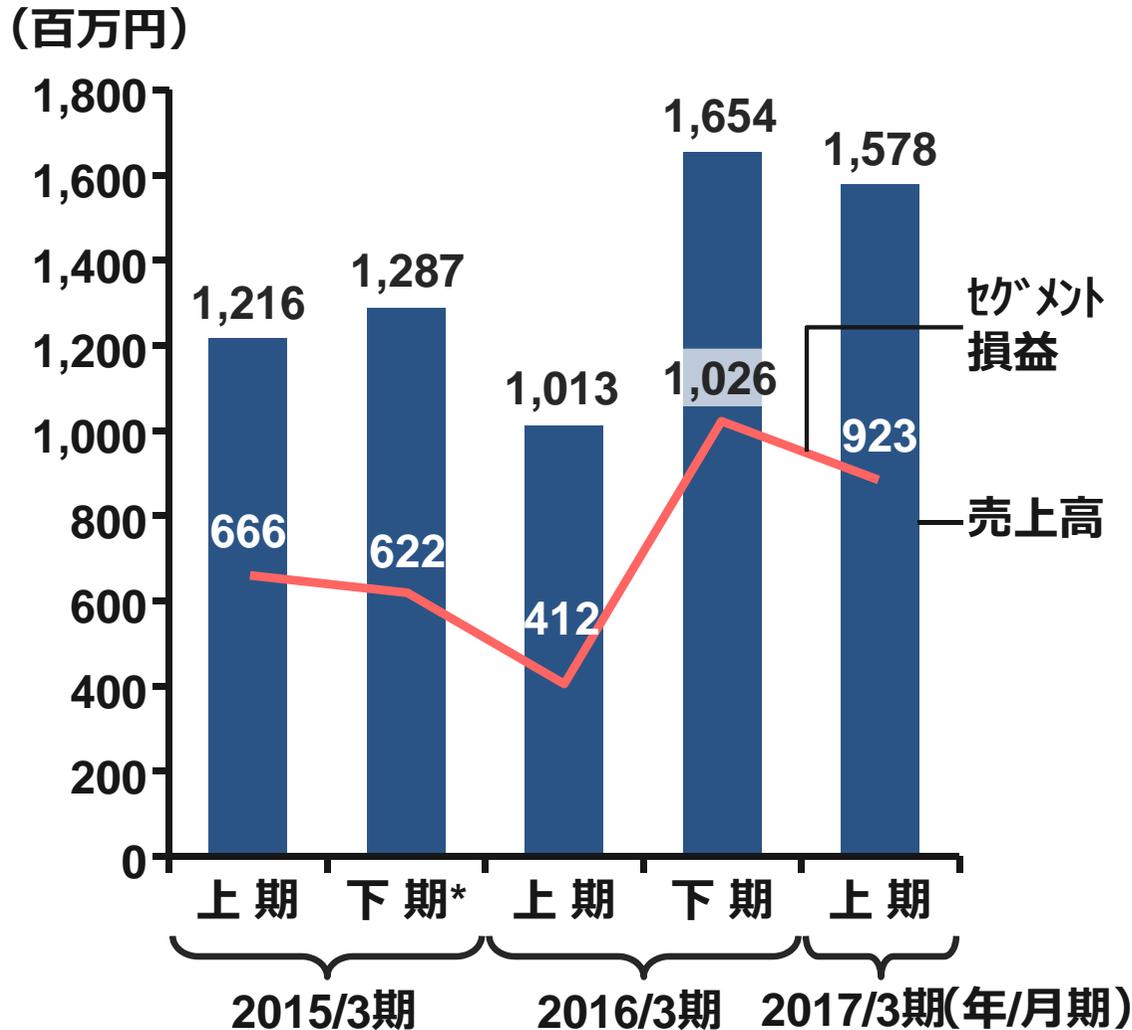
注： 各内訳人数は勤務地ベース（取締役を除く、臨時従業員を含む）、各月末日退職者を含む

第2四半期決算概況

各事業の状況

コンサルティング事業（セグメント）

業績推移



取組状況

売上高が対前年同期比で56%増加

- 1Qから好調を維持し、上期としては過去最高を達成
- 実行支援型が増加し、プロジェクトが大型化・長期化

主なプロジェクトテーマ

- 新規事業・成長戦略
- 新産業創出支援
- R&D・技術戦略
- 海外展開支援
- ビジョン・中期経営計画
- M&Aアドバイザー
- 幹部人材育成

注* 金額の表示単位未満は切り捨て
セグメント損益の算定方法変更

顧客概要

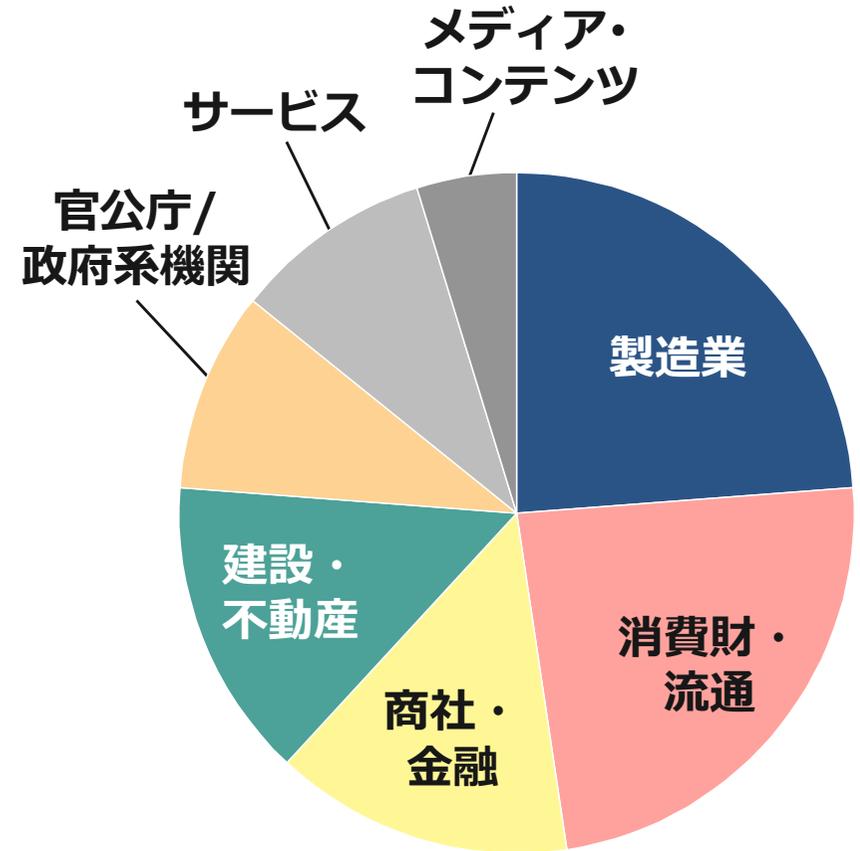
顧客の規模

経常利益

業界*順位 (企業数**)

	業界*順位 (企業数**)			
	1位	2位	3位	4位以下
5,000億円以上	2			
1,000～5,000億円	1	2		1
500～1,000億円	2	1		1
100～500億円	1	3	1	1
100億円未満	1			1
合計	7	6	1	4
売上高構成比 (%)	87.3	7.9	0.4	4.4

顧客の業種



* (株)ユーザベース「SPEEDA」の業界小分類に基づき、顧客業界を分類
 ** FA事業、教育事業、海外事業の顧客企業を含む（但し、非営利団体、ベンチャー、フティック系ファーム等を除く）

ビジネスプロデュースの啓蒙活動 (1/2)

「AI（人工知能）はあなたのビジネスをどう変えるか」

概要

2016年7月13日に大企業経営者約100名を対象にセミナー開催
(日本経済新聞電子版と共同)

プログラム：

- 基調講演①：Dr. Daniela Rus
「AI技術の動向と社会への影響」
- 基調講演②：DI 堀 紘一
「世界の先端技術を自社にどう取り込むか」
- パネルディスカッション：
「日本企業はAI技術とどうつきあうべきか」
 - 右記4名、DI 山川 隆義
 - (モデレータ) 日本経済新聞社 編集委員 村山 恵一



外部パネリスト



マサチューセッツ
工科大学 CSAIL所長
Dr. Daniela Rus



Toyota Research
Institute CEO
Dr. Gill Pratt



ペンシルベニア大学
工学・応用科学学部長/
DI戦略アドバイザー
Dr. Vijay Kumar
(社長・山川との対談記事
が日経BizGateに掲載)



経済産業省
経済産業政策局
産業再生課長
井上 博雄

ビジネスプロデュースの啓蒙活動 (2/2)

次世代CTOが集う「CTO30会議」(日経BP主催)の実行を支援中

概要

- 次世代CTO(最高技術責任者)を対象に有識者講演や事例研究を通じて、技術経営を議論
- DIはプログラムの作成、講師選定及びファシリテーション等の実行を支援

日本の技術をビジネスにつなげる

CTO30会議

- ▶ 技術だけでなく、経営環境や国際ビジネスの最新の動向・知見・経験を知る
- ▶ イノベーションの生まれる組織づくりについて、事例を知る
- ▶ 経営視点での技術戦略について、成功・失敗のポイントを整理する
- ▶ 技術開発における選択と集中、技術者育成の体制づくりなどの事例を知る
- ▶ 将来のCTO(Chief Technology Officer)とのネットワークをつくる

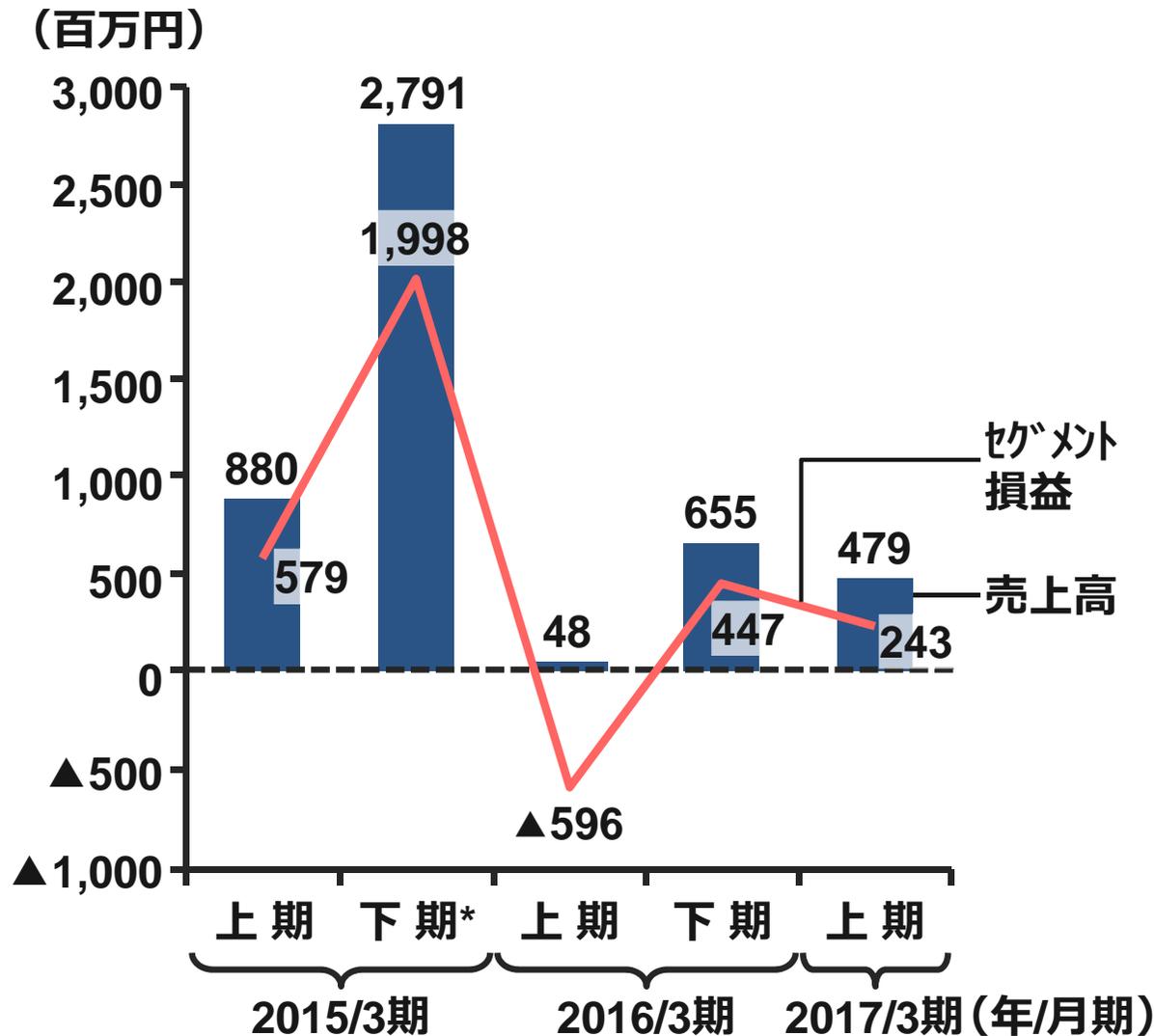
登壇者及びインタビュー記事*

- 第1回 6月22日 コマツ 野路國夫 会長
『CTOの役割「研究開発本部長とは違う」』
- 第2回 7月20日 DI 竹内孝明・石原英貴 執行役員
『鍵は将来見通す力 日米企業、成長格差の裏にCTO』
- 第3回 8月10日 富士フイルム 戸田雄三 副社長
『「事業転換」成功の秘訣』
- 第4回 9月29日 東レ 阿部晃一 副社長
『日本流イノベーションの極意は「超継続」』

* 日本経済新聞電子版に掲載

インキュベーション事業 (1) 営業投資セグメント

業績推移



注 金額の表示単位未満は切り捨て
 * セグメント損益の算定方法変更
 ** 簿価200万円以上のプリンシパル投資先のみ（金額は簿価）、その他は機器卸等

取組状況

主要ポートフォリオ (百万円) **

● IT・メディア	1,840	(10社)
● サービス	1,253	(8社)
● 環境・エネルギー	12	(2社)
● ロボティクス	30	(1社)
● その他	900	(3社)
合計	4,035	(24社)

投資 (追加含む) 9社

グローバルインキュベーション体制

5海外拠点 + 3戦略提携VC (米、中、印)

↔ 戦略パートナーシップ
● 拠点



注) DI Marketingのタイ、インドネシア拠点を含む

米国



<デジタルメディアに特化したVC>

創業者はメディア専門の投資銀行家



Goldman Sachs
元上級パートナー



UBS
元副会長

巨大メディアの創業者達が顧問団を構成



WME-IMG



MTV



Netscape

代表的な投資先 (括弧内は共同投資家)



(KPCB)



(21st Century Fox) (Google)



(Goldman Sachs)



(PayPal)



(Andreesen Horowitz) (Comcast)



(Yuri Milner)

中国



<中国の大手民間企業傘下のVC>

創業者はIT業界で約30年の経験を保有



Legend Holdingsの取締役社長、Lenovo Groupの非常勤取締役を兼務



280社超に投資。内、IPO43社+M&A40社

 (0299.HK) 2004/04/30	 (2028.HK) 2005/06/29	 (NASDAQ: SOLF) 2006/12/20	 (NASDAQ: SPRD) 2007/06/27	 (02002.HK) 2007/12/12	 (NYSE: VIT) 2007/12/21	 (0117.HK) 2007/12/21
 (002230.SZ) 2008/05/12	 (002291.SZ) 2009/09/03	 (1968.HK) 2009/09/29	 (NASDAQ: FTNT) 2009/11/18	 (300048.SZ) 2010/01/20	 (002373.SZ) 2010/03/18	 (NASDAQ: AMAP) 2010/07/01
 (NYSE: BITA) 2010/11/17	 (002565.SZ) 2011/03/18	 (NYSE: RENN) 2011/05/04	 (4866.TWO) 2011/09/13	 (002635.SZ) 2011/11/25	 (601336.SS) 2011/11/16	 (03836.HK) 2013/06/13

China Venture 投資年会にて受賞多数

- 最優秀革新投資者
- 最優秀投資業務実行者
- 最優秀Value-added service実行者
- TMT・消費財部最優秀パフォーマンス

インド



<インド最大手のアーリーステージVC>

創業者はTMT業界で15年超の経験を保有



両名とも、Mumbai Angels (インドのエンジェル投資家ネットワーク) の元メンバー

投資件数は、著名欧米VCを抑えてトップ

India's Most Active Tech VCs Since 2009

Rank	Investor
1	Blume Ventures
2	Accel Partners
3	Sequoia Capital India
4	Intel Capital
5	Helion Venture Partners

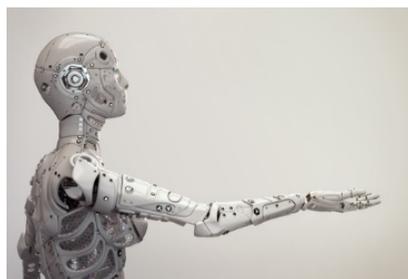
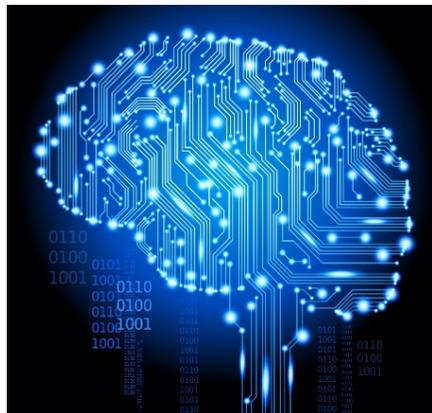
(CBInsights)

最近のExit実績

- TaxiForSure : Ola (インド版Uber、SoftBank投資先) に売却
- Zipdial : Twitterに売却
- Framebench : Freshdeskに売却
- 1Click : 同上

戦略投資領域① : AI・ロボティクス・IoT

AIが人間の機能を代替し、社会に浸透中



投資先企業

共同投資家

日本



ロボット・ロボカー



ZMPと資本提携

USA

社名非公開
(ロボティクス)

シリコンバレーの
老舗VC

中国



スポーツIoTデバイス



BERTELSMANN

CHERUBIC VENTURES

今後、グローバルで投資を加速

この画像または動画は、Shutterstock.comの
ライセンス許諾により使用しています

戦略投資領域②：デジタルメディア

エコシステム構築に向けて、投資・支援先を拡充

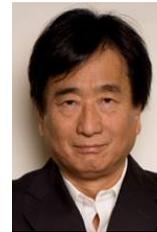
 新規投資/支援先

投資・支援先

パートナー

プラットフォーム	コンテンツ	   
	配信	
	モバイルブラウザ	
	チャット	 
	電子チケット	

顧問団

		
丸山 茂雄 元SME社長 SCE会長	三枝 成彰 作曲家	秋元 康 作詞家、 放送作家

戦略パートナー

	
	君联资本
	

映画 & ドラマコンテンツの日中産業交流会を開催

(2016年10月11日開催)

地域発コンテンツ
等海外展開
支援事業
(JLOP)



在上海
日本国
総領事館/
JETRO
上海

上海戯劇
学院

上海国際
芸術節
青年芸術
創想週間
委員会

日中映画 & ドラマコンテンツ産業交流会実行委員会

Dream Incubator(DI) / 得爰 (DI) 上海

海日エンターテインメント

上海華巖文化芸術有限公司

日本企業
(版元・スポンサー・投資家等)

クールジャパン機構、讀賣テレビ、東映、東映アニメーション、ノース・スターズ・ピクチャーズ、Quan、ORIX 等 約20社

中国企業
(制作・配給・投資家等)

中国電影、上海東方衛視中心、上海芸術人文基金、Yooya、U17、CDH、等 約20社

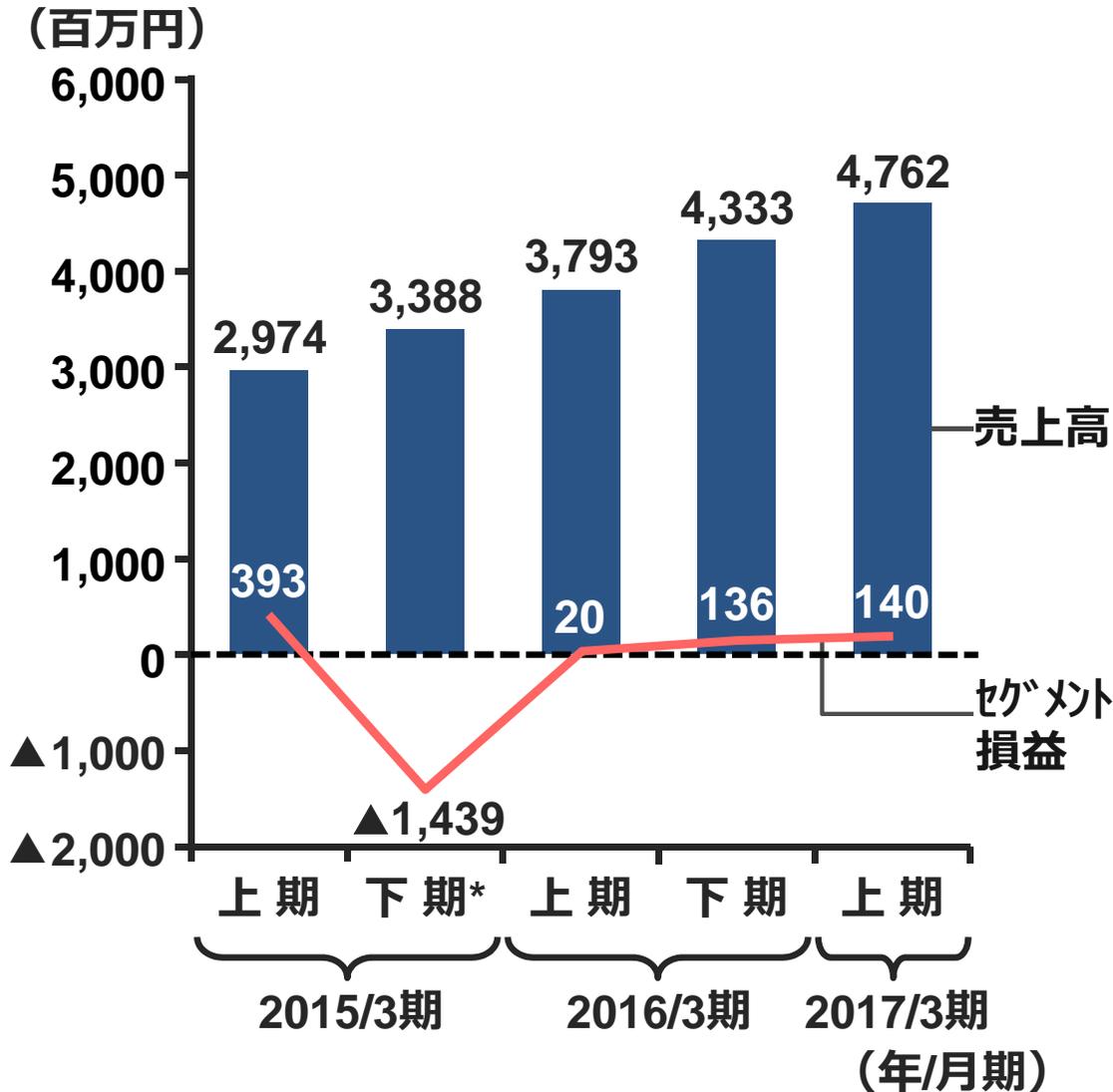


中国版「シティハンター」の発表も行われ、「唐季礼」(監督) / 「黄晓明」(主演) も来場

発表時期	展開国	概要
'12年2月	日本	東京ガールズコレクション等の知的財産権を管理する日本知財ファンド1号に出資
'13年6月	日本	オフィスクレッシェンド株式会社に出資
'13年10月	日本	ブレイカー株式会社に出資
'14年2月	日本	投資先である株式会社ディー・エル・イーの株式上場が承認
'14年6月	日本	特別顧問に丸山茂雄氏、三枝成彰氏、秋元康氏を招聘
'14年8月	中国	Entertainment Direct Asia Ltd. (EDA) に出資
'14年11月	米国	The Raine Group LLCと戦略的業務提携、同社運営のファンドにも出資
'15年7月	日本	東京ガールズコレクションの商標権を株式会社ディー・エル・イーに譲渡
'15年9月	米国	WrapMedia,LLCに出資
'15年9月	日本	株式会社ボードウォークに出資
'15年11月	日本	投資先の株式会社マイネットの株式上場が承認
'16年2月	インド	Blume Ventureと戦略的業務提携、同社運営ファンドにも出資
'16年3月	米国	WrapMedia,LLCへの追加出資及び戦略的パートナーシップの締結
'16年4月	米国	Plex Chatに出資
'16年5月	米国	Layer,inc.への出資及び戦略的パートナーシップの締結
'16年8月	米国	KONMARI MEDIA INC.へのインキュベーション支援を開始
'16年9月	日本	株式会社フォーモアに出資
'16年10月	中国	日中映画&ドラマコンテンツ産業交流会を開催

インキュベーション事業 (2) 保険セグメント(アイペット)

業績推移



注
* 金額の表示単位未満は切り捨て
セグメント損益の算定方法変更

取組状況

堅調に成長

- 売上高：+26% (対前年同期比)
- セグメント損益：+570%

さらなる成長に向けて投資を加速

- 専門人材の採用強化、システム整備

IPOへ向けた準備中



インキュベーション事業 (3) デジタルマーケティング(DI Marketing)

概要

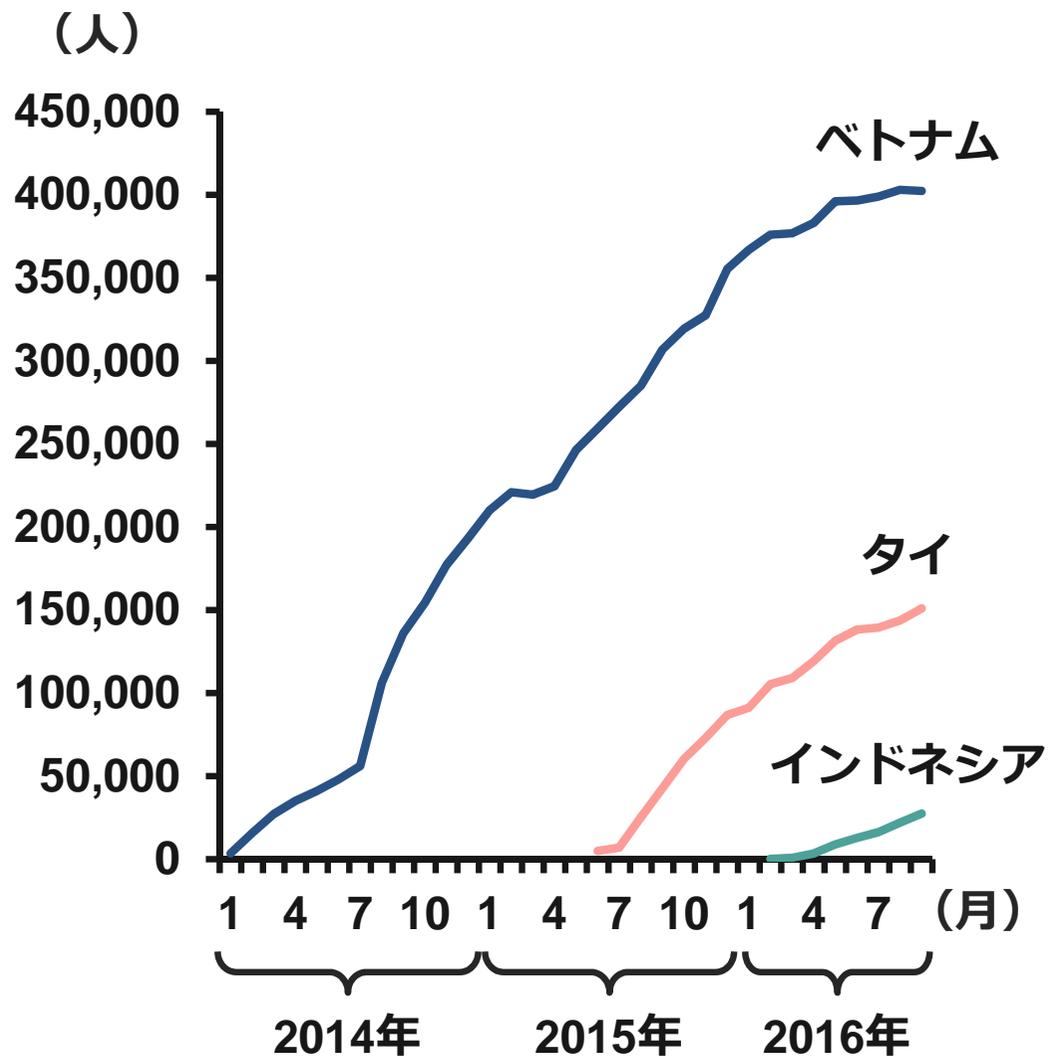
東南アジアにおける「ユーザデータを活用したデジタルマーケティング」を提供

- Facebookマーケティング
- オンラインサーベイ

- 2014年1月 ベトナム市場向け参入
- 2015年4月 タイ市場向け参入
- 2015年8月 オンラインサーベイ開始
- 2016年1月 インドネシア市場向け参入



会員数推移



2017年3月期 通期見通し

コンサルティング事業

- 成長率15%程度

インキュベーション事業

保険セグメント

- 継続成長

その他セグメント

- デジタルマーケティング：
ユーザー総数 100万人到達
- その他事業の仕込み

営業投資セグメント

- IPOは複数社を見込む

<売上高>

前期

当期

119億円* ⇒ 130億円

<売上高合計>

130 + α 億円

<株式売却>

7億円 ⇒ α 億円

* 売却したアセットリクデーション、知的財産権セグメント 計11億円を含む

Dream Incubator Inc.